

令和5年(2023年)6月16日

内閣総理大臣
岸田 文雄 殿

東京都中野区中野四丁目10番1号
公益財団法人
クリタ水・環境科学振興財団
理事長 中井 稔之

令和4年度(2022年度)事業および決算報告書

I. 2022年度 事業報告

II. 2022年度 決算報告

[目 次]

項 目	ページ
2022年度の振り返り	1
I. 2022年度事業報告書	2
1. 研究助成事業	2
1-1. 研究助成事業	2
1-2. 水環境科学技術の普及事業	2
1-3. 水・環境ネットワーク事業（クリタ水・環境科学研究優秀賞表彰）	2
2. 顕彰事業（日本水環境学会年会優秀発表賞（クリタ賞））	3
3. 国際交流支援事業（海外水・環境ネットワーク活動支援事業）	3
4. 理事及び監事並びに評議員の報酬等の基準	3
5. 基本財産運用状況	3
II. 2022年度決算報告書	4
1. 2022年度決算	4
2. 事業活動に関する数値のうち重要なもの	4
3. 2022年度監査報告書	4
・添付資料-1；2022年度研究助成応募および採択案件の総括	付-1
・添付資料-2；2022年度研究助成・国際会議助成案件リスト	付-2
・添付資料-3；2022年度研究助成件数・助成金額およびこれまでの累計	付-3
・添付資料-4；2022年度顕彰事業受賞者一覧	付-4
・添付資料-5；理事及び監事並びに評議員の報酬等の基準について(公表)	付-5
・添付資料-6；2022年度貸借対照表および内訳表	付-6
・添付資料-7；2022年度正味財産増減計算書および内訳表	付-7
・添付資料-8；財産目録（2023年3月31日現在）	付-8
・添付資料-9；財務諸表に対する注記および附属明細書	付-9
・添付資料-10；2022年度監査報告書	付-10

2022年度の振り返り

2022年度は、研究助成事業（国内研究助成、海外研究助成、水環境科学技術の普及、クリタ水・環境科学研究優秀賞表彰）、顕彰事業（日本水環境学会年会優秀発表賞「クリタ賞」、環境科学会「クリタ研究賞」、「クリタ活動賞」の表彰）、国際交流支援事業（ネパールのNPO法人CREEWへの支援、20周年記念事業であるアジア工科大学の修士課程の学生への支援）を継続実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響で、式典はオンライン形式、会議はオンライン形式及び会場とオンライン併用形式となった。

I. 2022年度事業報告書

自	2022年4月	1日
至	2023年3月	31日

1. 研究助成事業

1-1. 研究助成事業

(1) 公募

- ・国内およびアジアの国・公・私立大学、研究機関（民間団体・企業を除く）に所属する研究者を対象とした。なお、アジアについては、タイ、インドネシア、ベトナム、マレーシア、その他アジア諸国に分けて公募した。

・助成分野別応募件数

国内研究助成	自然科学・技術－1&2	92件
	人文・社会科学	16件
	特別テーマ（水を究める）	11件
	萌芽的研究	80件
	継続助成	40件
	ネットワーク構築助成	12件
国際会議助成	会議開催・会議発表	1件
海外研究助成		514件
	合計	766件

添付資料－1；2022年度研究助成応募および採択案件の総括

(2) 選考

- ・第一次審査（1件につき利害関係者を除く3名の選考委員による書類審査）を経て第二次審査（選考委員会）を行い、155件が採択された。

・助成件数、交付金額の内訳

国内研究助成	；81件（交付金額	99,899千円）
国際会議助成	；1件（交付金額	248千円）
海外研究助成	；73件（交付金額	29,200千円）

添付資料－2；2022年度研究助成・国際会議助成案件リスト

添付資料－3；2022年度研究助成件数・助成金額およびこれまでの累計

1-2. 水環境科学技術の普及事業

(1) クリタ水・環境科学振興財団ニュースの発行

- ・財団事業活動状況、助成研究に関わる情報等を通して、水環境問題に取り組む研究者の情報交流の場作りを支援する目的で財団ニュース第20号を発行し、これまで助成を受けた研究者に配布した。

1-3. 水・環境ネットワーク事業（クリタ水・環境科学研究優秀賞の表彰）

- ・クリタ水・環境科学研究優秀賞は、助成研究者のフォローの一環として優秀な研究成果を創出し社会貢献度の高い活動を行っている研究者を表彰するもので、2022年度は2018年度および2019年度の国内研究助成対象者の中から6名が受賞した。受賞者は、2022年8月26日の助成金贈呈式において表彰を受け、研究成果を発表した。概要を財団ニュース第20号に掲載公開し普及を図った。
- ・2023年度の表彰に向けて選考を行い、候補者3名を選出した。

2. 顕彰事業

- (1) 日本水環境学会に対して、年会優秀発表賞「クリタ賞」として2,000千円を拠出した。2022年度の年会は会場とオンライン併用で開催され、16名が表彰された。
- (2) 環境科学会に対して、高校活動奨励賞「クリタ活動賞」、博士後期課程学生研究奨励賞「クリタ研究賞」として、600千円を拠出した。2022年度は、クリタ活動賞として2グループ、クリタ研究賞2名が選出された。

・添付資料-4 ; (2022年度) 顕彰事業受賞者一覧

3. 国際交流支援事業 (海外水・環境ネットワーク支援事業)

- (1) C R E E W (Center of Research for Environment, Energy and Water) への支援
 - ・海外水・環境ネットワーク支援事業は、水・環境分野の科学技術の振興に関わる国際交流支援の一環として行う事業であり、昨年度に引き続きネパールの水・環境問題に取り組む現地のNPO法人C R E E Wの活動を支援した。
- (2) 修士課程の学生への支援 (財団設立20周年記念)
 - ・2017年、アジアにおける国際大学であるアジア工科大学 (AIT) に水・環境に関する3講座の修士課程の学生を対象とする基金を設立した。奨学金の給付と国際交流への支援により、次代の研究者の育成を図った (2017年度入学から2021年度入学まで)。2021年度入学の3名 (各講座1名) を支援した。なお、インターンシップは新型コロナウイルス感染症のため中止した。

4. 理事及び監事並びに評議員の報酬等の基準

理事及び監事並びに評議員の報酬等の基準について、定款に基づいて公開資料を作成し、ホームページに掲載し公表している。詳細を添付資料-5に示す。

・添付資料-5 ; 理事及び監事並びに評議員の報酬等の基準について (公表)

5. 基本財産運用状況

2022年度基本財産運用については、適宜、資産運用委員会に諮り実施した。

基本財産内訳 (2023年3月31日現在)

普通預金	145,322,210 円
投資有価証券	2,581,496,601 円

<u>合計</u>	<u>2,726,818,811 円</u>
-----------	------------------------

Ⅱ. 2022年度決算報告書

自 2022年4月 1日
至 2023年3月31日

1. 2022年度決算

2022年度決算結果の概要を以下に示し、詳細を添付資料－6～9に示す。

- (1) 経常収益計 ; 168,468,138円
- (2) 経常費用計 ; 185,800,403円
- (3) 一般正味財産期首残高 ; 45,989,632円
- (4) 一般正味財産期末残高 ; 28,657,367円
 - ・添付資料－6 ; 2022年度貸借対照表(2023年3月31日現在)
 - ・添付資料－7 ; 2022年度正味財産増減計算書および内訳表
(2022年4月1日～2023年3月31日)
 - ・添付資料－8 ; 財産目録(2023年3月31日現在)
 - ・添付資料－9 ; 財務諸表に対する注記および附属明細書

2. 事業活動に関する数値のうち重要なもの

- (1) 収支相償 ; △24,398,192円で収支相償を満した。
(注) 収支計算 ; 公益目的収入の額 150,668,138円－公益目的費用の額 175,066,330円
- (2) 公益目的事業比率 ; 94.2%
(注) 比率計算 : 公益目的費用額 / 経常費用額 = [175,066,330円 / 185,800,403円] × 100
- (3) 寄付を受けた財産の額 : 全額栗田工業グループからの寄付
運用財産寄附金 ; 89,000,000円
- (4) 特定資産からの振替額 ; 23,900,207円
- (5) 金融資産の運用収入の額(利息収入) ; 55,567,931円
- (6) 資産、負債及び正味財産の額 ; 2,824,906,840円
- (7) 遊休財産額(一般正味財産期末残高) ; 28,657,367円

3. 2022年度監査報告書

2022年4月1日から2023年3月31日における当財団の会計および事業運営状況について当財団監事の監査を受け、「問題なし」との報告を受けた。

- ・添付資料－10 ; 2022年度監査報告書

以上